



たより vol.35

カレンダー

※ は休館日

(変更する場合があります)



祥雲閣 で気軽に
お茶 を
楽しみましょう

5月							6月							7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	⑦				1	2	3	④						1	②
8	9	10	11	12	13	⑭	5	6	7	8	9	10	⑪	3	4	5	6	7	8	⑨
15	16	17	18	19	20	⑳	12	13	14	15	16	17	⑱	10	11	12	13	14	15	⑯
22	23	24	25	26	27	㉘	19	20	21	22	23	24	㉙	17	18	19	20	21	22	㉛
29	30	31					26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	⑳
														31						

◆◆◆祥雲閣のご案内◆◆◆

庭園を眺めながら500円でお茶とお菓子を気軽に味わえます。
(10時～16時まで)
茶道をはじめ、箏・謡・舞踊などの発表会やお稽古にご利用いただけます。

祥雲閣では、新緑の美しい庭園を眺めながら、静かで心地よさを感じさせる立礼茶室（椅子にお掛けいただくお席）で、ゆっくりとお茶とお菓子を楽しんでいただけます。

軽やかなのど越しの中にさわやかな苦みが味わえるお茶に季節の菓子が添えられます。菓子は色や形だけでなく、素材や食感などで季節感を表現しており、四季の移ろいをも味わうことができます。

日曜日から金曜日は抹茶、土曜日は煎茶の提供を行っております。煎茶提供に合わせて、清泉幽茗流清泉会による文人華道の席飾りをご覧ください。

◆所在地 大崎市古川福沼一丁目2番2号

◆電話 0229-24-3385

◆交通 JR古川駅から徒歩約20分

東北自動車道古川ICより車で約10分

◆駐車場 有

◆休館日 月曜日

(月曜が祝日の場合は翌日)

◆入館料 無料



大崎市祥雲閣

令和4年 4月28日発行

〒989-6105

宮城県大崎市古川福沼一丁目2番2号

TEL・FAX 0229-24-3385

祥雲閣の茶室

りゅう げ あん
龍 華 庵



数寄屋造り、腰掛待合も備える本格的な茶室です。

命名及び扁額の揮毫は京都の龍寶山大徳寺瑞峯院住職前田昌道師によるもの。

祥雲閣を寄贈した青沼家が「見龍」という酒を造っていたこと、また「龍寶山大徳寺」の「龍」をとって名づけられました。

「龍華」は弥勒菩薩がその下で法を説いて人々を済度したとされる想像上の樹で、ここ「龍華庵」で多くの方々が心豊かになるようにとの願いが込められています。



茶室に通じる露地を進むと腰掛待合があり、蹲踞で手と口を清めて茶室に入ります。

◎腰掛待合(こしかけまちあい)

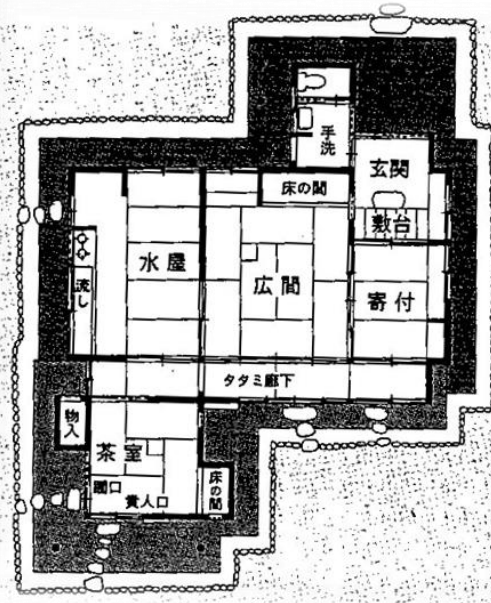
腰掛待合は茶会に招かれた客が席入の案内を待つ場所です。

◎蹲踞(つくばい)

茶室に入る前に手を洗い、口をすすいで清めます。

◎躡口(にじりぐち)

茶室の出入口。姿勢を低くし頭を下げて入ります。



◎茶室(四畳半)

床の間に掛け軸や季節の花が飾られます

